

令和6年4月1日

令和6年度 瑞穂第二中学校経営計画

瑞穂町立瑞穂第二中学校
校長 吉田 周平

□ 社会的使命

生徒一人一人が自分のよさや可能性を認識することができ、あらゆる他者を価値のある存在として尊重することができる生徒を育成し、自らの力で豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができる資質・能力を養う。

□ みずほっ子の目標及び学校教育目標

瑞穂町教育委員会及び東京都教育委員会の教育目標・基本方針に基づき、学校教育目標（以下、「教育目標」という。）の実現を図る。

○ みずほっ子の目標
みずほを愛し発展させるひと ずっと社会とかかわるやさしいひと ほがらか明るく夢を語る人
○ 学校教育目標
人間性豊かな社会人をめざして
・ 進んでよい友達になろう 【 適切に人とかかわる力 】
・ 丈夫な身体を作ろう 【 健やかな心の成長と健康な身体 】
・ 意欲をもって学習しよう 【 社会の中で活躍できる学力 】

□ 学校経営の理念

・ 「社会の中で自己を生かす意欲や行動力」を育む学校づくり
・ 「生徒、教職員が共に「時を守り、場を清め、礼を正す」学校づくり
・ 「生徒が生き生きと学び教職員が生き生きと働くことができる」学校づくり

□ 目指す生徒像

・ 他者を思いやり、協調しようとする行動がとれる生徒	【 進んでよい友達になろう 】
・ 自他を大切にしながら、心と体を鍛える生徒	【 丈夫な身体をつくろう 】
・ 自主自律の心もち、主体的に学ぶ生徒	【 意欲をもって学習しよう 】

1 「社会の中で自己を生かす意欲や行動力」を育む学校づくり

- (1) 他者と関わりながら会得する学習活動や体験的な活動を充実させることにより、生徒たちが「一緒に喜ぶ」「一緒に悲しむ」「競い合う」「励まし合う」「我慢する」「協力する」などの対人スキルを育む教育活動を充実させる。

- (2) 知識と教養を身に付け真理を求める態度を養うために、各教科等において基礎的な知識及び技能を身に付け、これらを活用して課題を解決する生徒の育成を図る。主体的に学習に取り組む態度を養い、家庭と連携を図りながら生徒の学習習慣を確立させる。
- (3) 「自分の役割を果たす力」「前向きに考える力」「自分や他者を理解する力」「他者に働きかける力」「話す力・聞く力」などを、コミュニケーション能力を構成する力と位置付け、主体的に行動し協働する生徒を育成する。
- (4) 令和5年度までの校内研究における成果と課題を活用する。育みたい資質・能力（3つの柱）についての調査研究を継続し、生徒の学校生活への意欲と自己有用感を伴った自尊感情を育成する。

< 3つの資質・能力 >

- ・ 何を知っているか、何ができるか ⇒ 自己を分析する力
- ・ 知っていること・できることをどう使うか ⇒ 課題を設定する力
- ・ どのように社会・世界と関わりよりよい人生を送るか ⇒ 未来の生き方を考える

- (5) 社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す教育活動を充実させる。

2 生徒、教職員が共に「時を守り、場を清め、礼を正す」学校づくり【行動目標】

- (1) 時間を意識する
 - ・ 学校生活では、生徒も教職員も時間を意識して行動し、約束された時間を守る。
- (2) 身の回りを美しく整える
 - ・ 学校や教室、地域の美化活動を行うとともに、学習の個性化と指導の個別化を意識した授業の構造化、不登校支援等の教育環境整備に組織的に取り組む。
- (3) 礼儀を尽くす
 - ・ 爽やかな挨拶、服装や姿勢を正すことにより、相手を尊重する雰囲気醸成する。

3 教職員が生き生きと働くことができる学校づくり

- ・ 校務分掌や教育課程の見直しを組織的に実施する体制を構築し、業務の効率化や改善を行うことで教員が生徒と向き合う時間を確保する。
- ・ 風通しのよい職場づくりを行い、心身ともに健康で生き生きと働くことができる環境を整え、活力ある職場づくりを行う。
- ・ 人材育成・キャリア形成に向けた研修機会の確保とOJT等を充実させるとともに、様々な職務経験を積む機会を確保する

4 目指す教師像

「みずほあったか先生 ～ 熱く元気で夢を語れる瑞穂二中の教師 ～ 」

○ 導き育て学び続ける教師

教育公務員としての職責を自覚し、使命感、人間の成長・発達についての深い理解、生徒に対する教育的愛情をもち、教科等に関する専門的知識や広く豊かな教養等を基盤とした実践的指導力を身に付けるために学び続ける教師

○ 師弟同行する教師

生徒に寄り添い、共に歩みながら教育活動を行う。生徒から学んだことを、教育活動の充実に活かし、生徒の長所を引き出し伸ばしていくことができる教師